



◀ 広報紙がスマホで読めます(10言語対応)

お好み焼き × SDGs



できることから始めよう

エスディーゼーズ
 SDGs を難しく捉えていませんか。一人一人にできることを、身近なものに結び付けて考えてみましょう。
 岡政策企画課(☎504-2014、☎504-2029)



SDGsって何?
 サステイナブル
 「Sustainable Development Goals」

(持続可能な開発目標)の略称で、2015(平成27)年に国連で採択された世界共通の目標です。将来の世代が安心して暮らすことのできる「誰一人取り残さない」世界を目指して、17のゴール(目標)が定められています。

「お好み焼アカデミー」の取り組み

SDGsを、身近な食べ物「お好み

焼き」と結び付け、ゴールを意識したさまざまな取り組みを行っているのが「お好み焼アカデミー」です。同団体は、全国の子ども食堂へお好み焼きの材料セットを配布したり(12310のゴール)、マヨネーズで平和への思いを描いたお好み焼きをSNSで発信し、平和の大切さを共有する「ピースおこ」企画(下写真)を行っ



お好み焼き店の来店客が思い描いた「平和」

たり(1116のゴール)しています。

お好み焼きとSDGs。どんな関係がある?

「例えば、家庭では残り野菜などを使用することで、食品ロスの削減になり、12のゴールにつながります。また、食べられない食材がある人でも、お好み焼きなら工夫して作ることができます。そうすれば、みんなで一緒に楽しみながら食べられますよね。これは、



SDGsが掲げる『誰一人取り残さない』世界につながるのではないのでしょうか」と同団体の松本重訓さん(左下写真)は話します。

一人一人ができることから

皆さんが食材を購入するとき、なるべく地元の産品を選ぶことも、12131415のゴールにつながります。特別な行動を起こさなくても、日々の暮らしの中で、自分の行いを17のゴールにつなげていくことができます。一人一人が意識して行動することから始めてみませんか。